

平成27年度「比良山系山岳パトロール実施報告書」

作成日：2016年2月11日

パトロール実施日	平成28年 2月 6日 (土) 天候 曇り時々晴れ時々小雪
山岳会名 (団体名)	東レ滋賀山岳部
参加人員 代表者名・人数	三浦光次 (3名)
実施コース (コースタイム) ・コース名に○印 ・具体的なコース (積雪状況等を含む)	(実施ルートを詳細に記載して下さい。) ・ <input checked="" type="checkbox"/> A蓬萊山コース ・B ・C ・D ・E 打見山→蓬萊山→小女郎池→→→ 小女郎峠→蓬萊山→打見山 (10:10) (10:50) (12:00-12:30) (13:04) (14:00) (14:40) 積雪少なし。蓬萊山頂では地肌が出ていた。 小女郎池は凍結していたが、積雪は5～10cm程度。
(※) 登山届投函箱の 状況	(修繕等が必要なもの、筆記用具・記入用紙の状況、錠前の状況など記載して下さい。) ビワコバレー山麓駅 ていねいに維持されていました: 異常なし
(※) 道標の状況	(破損しているもの、比良ロープウェイ・リフト等の名称が表記されており、修繕等が必要なものを記載して下さい。) ・問題なし
(※) レスキューポイ ントの状況	(表示板が破損していたり、取れかかっている箇所があったりすれば・場所名 ・標識No等を記載して下さい。 携帯電話の通信状態のチェック・メーカー・機種別を記載して下さい。) 1. 蓬萊山南の地蔵のレスキューポイントは完全に雪の上に出ていた。(写真) 2. 小女郎峠のレスキューポイントは赤色と青のインクが剥げて見にくくなっていた。 (写真)
(※) コースの状況	(橋の破損、通行止めの表示やロープの老朽化等の箇所があれば記載して下さい。) 1. 雪庇もなく、特に危険なところはなかった。 2. 笹平から蓬萊山まで初心者ゲレンデ内を通過する分には、スキーヤーとの接触以外には危険はない。しかしフェンス東外を歩く場合は、滑り台乗り場の上のフェンスが谷側に倒れている個所の雪面の傾斜がきつく、滑落の危険がある。できれば金毘羅峠への分岐までは初心者ゲレンデ内を通過する方が安全である。
(※) その他	(コースがわかりにくく新たに道標が必要と思われる箇所、その他危険なため、何らかの対策が必要と思われる箇所等があれば記載して下さい。) 特記事項なし
単 独 登 山 者 に 付いて	(・年齢・男女の区分・登山コース・その他 等を記載して下さい) 入山者は比較的少なく、単独者も5人程度。
登山者への指導 等	(登山者の様子&状況、登山者への指導等をされた場合はその概要を記載して下さい。) 平からの3パーティー7人程度、小女郎谷から3人パーティー。打見山からの10人と2人パーティーに登山届提出を呼びかけた。

(※) 印：この報告書に記載されたコースの状況等で必要なものについては、比良山系登山情報のホームページに掲載しますので、速やかに報告して下さい。

・道標の新設・修繕やレスキューポイント表紙板の破損、危険箇所等については、地図上にその箇所を示すと共に、現状の写真を添付して下さい。

・「報告書」の送信先

【比良山遭難防止対策協議会 事務局】大津市総合防災課

(E-mail:hirasan@otsu.jp FAX:077-523-2202)



雪少なし



レスキューポイント



小女郎池



通行注意箇所

蓬萊山ゲレンデ端注意箇所



小女郎峠